

## 令和7年度 第1回魚津市地域クラブ推進協議会

1 日時 令和7年8月28日(木) 19:00~20:30

2 場所 ありそドーム 研修室

### 3 参加者

市スポーツ協会 各スポーツ競技団体 代表  
市PTA連合会 市中学校長会 市中学校体育連盟 魚津商工会議所 各代表  
事務局：市教育委員会(事務局長 担当課長 担当)

### 4 協議内容

#### (1)地域クラブ活動の現状 ※協議会資料参照

- ・生徒の加入状況等
- ・指導者の登録状況、研修等
- ・教員の時間外在校等時間
- ・生徒アンケート結果
- ・各クラブからの報告

#### (2)国の動向

#### (3)今後の取組の方向性 ※協議会資料参照

- ・進捗状況
- ・課題への対応

#### (4)各クラブからの報告

##### ○水泳

- ・スイミングクラブと合同で活動している。登録者が少ないため、今後継続の形を模索していく必要がある。

##### ○サッカー

- ・指導者不足が課題。基礎から学んでもらって高校、大学と満足のいく競技生活を送ってほしいと思っているため、練習内容等の充実をねらった指導者を確保していきたい。
- ・練習場所の確保が課題。グラウンド、ピロティを優先的に確保してほしい。
- ・部活動は、競技の導入には最適な場所である。部活動をなくす方向ではなく、平日等で継続してほしい。

##### ○柔道

- ・1年生が東西とも0名の状態。小学生は6年生が1名。将来、練習が成り立たないという危惧がある。



#### ○剣道

- ・来年度に向けて、平日の活動を試行的に進めている。段位審査があるため、対象の生徒を中心に行っている。
- ・部活動として出場していた大会への参加料の補助を継続してほしい。
- ・平日の部活動、夏休みの部活動は継続してほしい。

#### ○バドミントン

- ・生徒 10 名、指導者 10 名と充実した指導ができる環境になっている。
- ・熱中症アラートが出て、活動を中止したことがあった。活動環境の整備に注視していきたい。

#### ○陸上競技

- ・地域クラブから MT スポラに移行していく生徒もいる。競技力を高めたいという生徒に環境を整えたい。
- ・中体連の大会に参加する場合は、MT スポラ・東部中学校・西部中学校の選択肢をのこしていくことが、参加できる生徒を増やすことにつながる。また、中体連の規約を変更してほしい思いもある。

#### ○バレーボール

- ・県のセレクションに選抜された生徒が 1 名。
- ・小学生からの経験者を接続を重視して確保していきたい。
- ・体育館の熱中症対策が不足している。

#### ○卓球

- ・うおづスポラ JTC と連携して指導者を確保していきたい。
- ・中体連の大会について、うおづスポラ JTC をクラブ登録する予定。
- ・魚津卓球クラブをうおづスポラ JTC にして地域クラブ化したい。

### (5) 意見交換

- ・平日の部活動はなくならないということで、専門的な顧問がいなくなる可能性はあるのか。
- 教員の異動によって顧問が変更になる可能性はある。専門的な指導を受けたいというニーズがあれば多様な地域クラブという選択肢、学校部活動で続けたいニーズがあれば外部指導員をつけた部活動という選択肢もある。
- ・学校で地域クラブの広報ができない現状がある。学校では部活動紹介があるが、そこで地域クラブの紹介はできない。部活動をなくして地域クラブに力を入れていくのであれば、学校と地域クラブを同等に扱って生徒に周知していく必要がある。

## <中学校より>

(高校からのスカウトについて)

- ・ これまでは、上位大会出場の優秀選手が高校から声がかかる状況だったが、現在は、高校部活動の維持の観点から多くの中学生に勧誘の声がかかる状態である。
- ・ 地域クラブとして活動していたら、中学校に問い合わせが来てもなかなか活動状況が把握できない。
- ・ 今後は、中学校に高校から依頼があった場合、保護者とつなぐ。場合によっては、地域クラブの状況を見にきてもらい、活動終了後地域クラブ指導者、生徒と話しをする場合もある。地域クラブに依頼をする場合があるため、ご協力いただきたい。
- ・ 市外の地域クラブに参加している生徒も多くいる。選択肢が多岐にわたるため、現状把握をおこなった。結果は37.4%がクラブに入っている。自分の技能を高められる環境を選択していくことが主流になっている。
- ・ 部活動は平日週3日、1回1時間程度の練習におさめなければ勤務時間超過が進んでしまう。ただ、部活動をなくすわけではない。生徒が継続的に芸術スポーツに親しむことができる環境をつくることで地域の活性化にもつながり付加価値にもなっていく。どのような形で部活動継続が望ましいのか検討していく必要がある。例えば、レクリエーション的な様々な芸術スポーツに親しめる部活動をつくっていくというのもニーズに合うのではないか。
- ・ ここ数年の働き方改革によって勤務超過時間は大幅に減っている。
- ・ 二極化している現状に合ったスポーツ環境の整備が必要ではないか。
- ・ 中体連の大会でも多くの地域クラブが参加している。運営側もこれまで教員がやっていたものが地域クラブ指導者が関わることも多くある。移行期にどれだけ課題をだして対策を練れるかが重要である。

## <PTAより>

- ・ 子どもたちは学校をはじめ、地域の方々に育てられていると感じている。保護者としては、子どもたちの意思のうえに胡坐をかいて「好きでやっているんでしょ」という考えではいけないと改めて感じた。
- ・ 多くの指導者の方々にお世話になっていることを感じている。指導者の方々も体調に留意され、子どもたちのために尽力していただきたい。